

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	スロー・ダウン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.510	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：スロー・ダウン**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：テイク・ダウン**

フレアーの幅  インチ

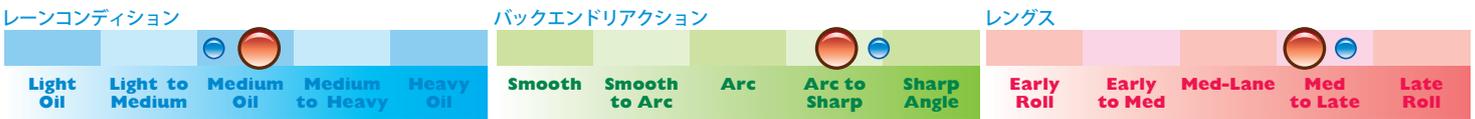
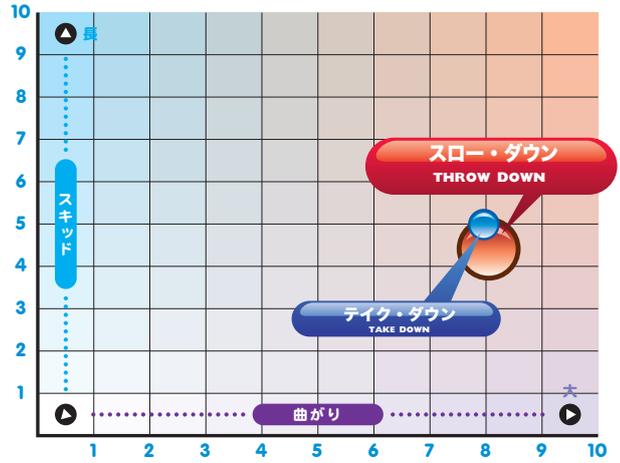
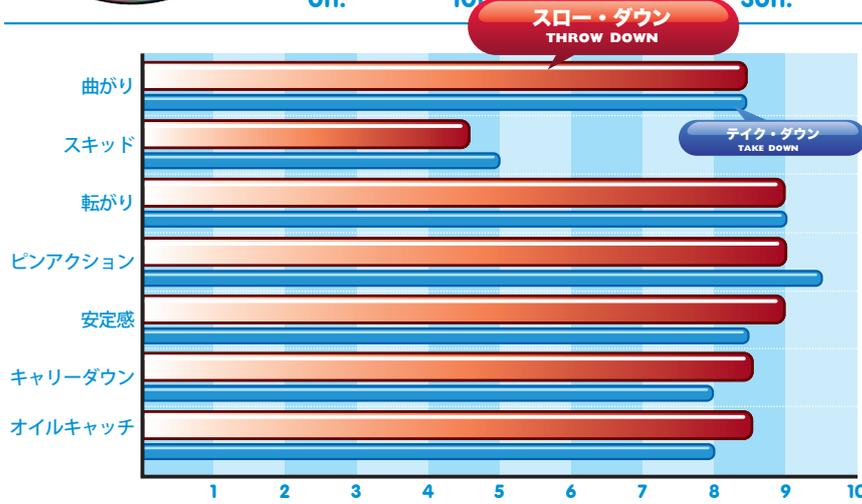
PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



### ボールの評価

このThrow DownはColumbia社の軸となるメイン製品で、SMACK DOWNから始まり、TAKE DOWN、そしてABS50周年記念モデルとして発売されたThe Momentum Goldでも使用されたSD Medium RG CoreをこのThrow Downでも使用しています。今までこのコアで共通して好印象を得られているのは、ミッドエリアでの安定した曲りと、曲り終わらずに入射角までを得られる非常にバランスの取れたコアテクノロジーに支えられており、このシリーズにユーザーのほとんどはその安定した曲りと軌跡を求めているのだと思います。今回発売するThrow DownはColumbia社のカタログボールで、今までBring-Itカバーストックで使用されなかったSolid Reactiveが採用されています。今回はあえてカタログボールのボックスフィニッシュと異なった日本オリジナルの表面仕上げを行い、Solid Reactiveの特徴を前面に出す加工をチョイスしています。その効果はSolid Reactiveのオイルに対しての強さを強化させるとともに、オイルの濃淡を極端に感じさせない加工でもあります。

Throw Downを投球した印象は、さまざまな表面加工でパフォーマンスを試しながらBring-It Solid ReactiveとSD Medium RG Coreの組み合わせで最適な表面加工を日本オリジナルとして設定しました。USモデルの表面加工との比較は、ミッドエリアの曲りはじめの安定感が増し、バランスの取れた入射角が取れるようになっています。

このシリーズに共通して言えるのは、派手な動きの性能ではありませんが、非常に安定感があり、曲りの読みやすい性能で薄めのアクションに強いと言えます。派手な動きのボールが日本で求められる中、実用性の高いコントロール性能の高いボールをお探しの方は是非このボールをお試しください。

### 特記事項

**Bring-It 初のSolid ReactiveとSD Medium RG Coreの組み合わせで、ミッドエリアから安定した曲りと安定した入射角が得られる性能です。**